

令和3年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：現代政治分析

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治学
2. 政治過程論
3. 行政学

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治学

問題1 執政制度の違いは、いかなる政治的効果を持つのか。執政制度と政治的帰結の関係について論じなさい。

問題2 日本の参議院議員の選挙制度はどのようなものか。その変遷とそれがもたらしたと考えられる政治的帰結について論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治過程論

問題 1 政治過程においてアイデアが果たす役割について論じなさい。

問題 2 労使団体の政治的影響力について論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 行政学

**問題1** 日本における政令指定都市制度について、それがどのような経緯で誕生し、どのような特徴を持つ制度なのか、都道府県および市町村との関係に触れながら記述しなさい。その上で、誕生以来、どのような形で運用がなされてきたのか、その運用には時期によりどのような変化が見られるのかについても述べなさい。

**問題2** 日本の公務員数は、他国と比べてどのような状態にあるかを述べた上で、なぜそのような状態にあるのか、また、そのような状態にあることは何をもたらしているのかについて論じなさい。